

KAWAGUCHI CITY NEWS

PRESS 53



ぶれすごうさんまる 2012.3.1

Vol.

83

2012.3.1



特集

リサイクル

- ・身近にできる Recycle (再生利用) の取り組みについて
- ・プラスチック製容器包装の行方を追え！
～プラスチック製容器包装のリサイクルの様子～
- ・鳩ヶ谷地域のみなさまへ
～4月1日よりごみの分け方・出し方が変更になります～

特集

リサイクル 身近にできるRecycle(再生利用)の取り組みについて

3号連続掲載の最後となる今回は^{リサイクル}Recycle(再生利用)についてご紹介いたします。Recycleとは、再び資源として利用することです。しかし、Recycleするにはお金やエネルギーも必要になります。まずは、すぐにごみになるようなものは買わないようにしたり、自分には必要ないものは他の人に譲ったりして、ごみを減らすようにしましょう。そのうえで、どうしてもごみになってしまうものだけを、分別してRecycleするようにしましょう。



これで今日から
スリーアール
3Rの達人
だね!

スリーアール

3Rとは、ごみを減らすための3つのキーワード、
リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・^{リサイクル}Recycle(再生利用)のことで、このキーワードの頭文字“R”をとって
スリーアール「3R」と呼んでいます。

リサイクル Recycleの取り組み

◎分別する事がリサイクルの第一歩!

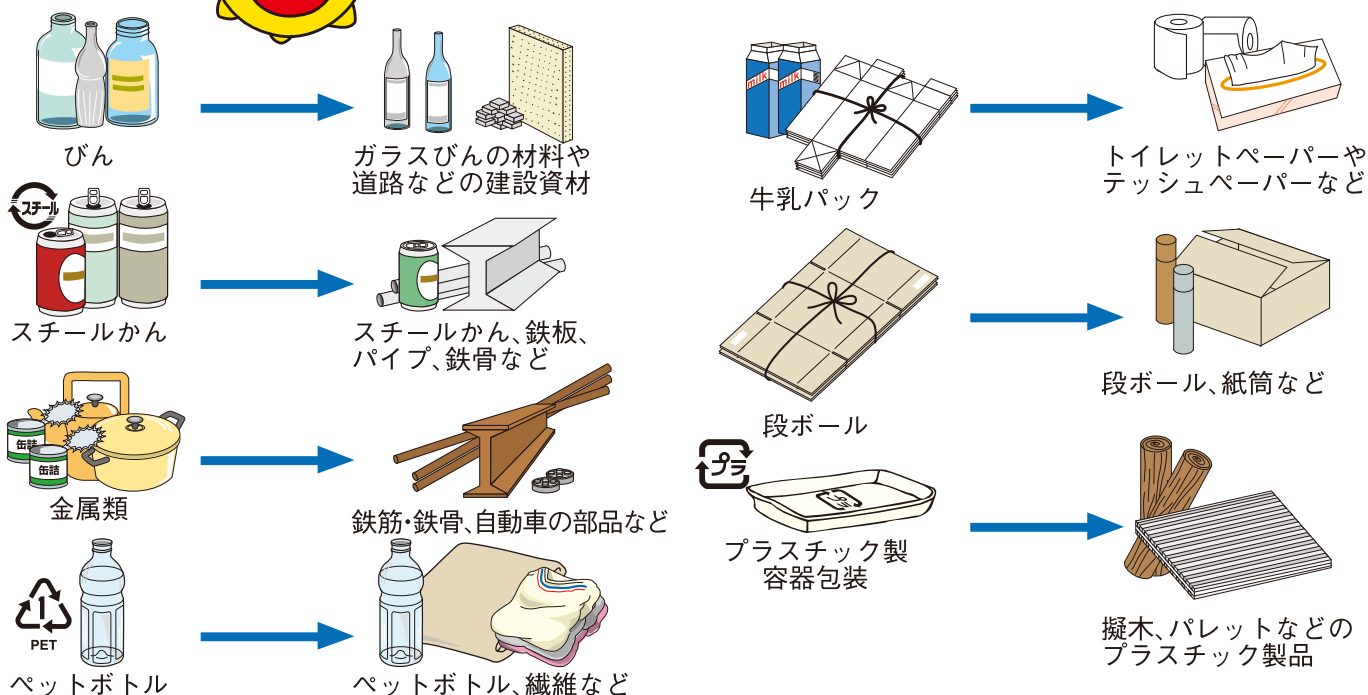
ごみに出す時は、ルールに従って分別して出しましょう。4・5ページで紹介しているように、きちんと分別することで、資源物として出されたものが再び商品として生まれ変わります。分ければ資源、混ぜればごみ。分別することでリサイクルに協力しましょう。



手選別によって異物を取り除くのは大変な作業です。正しい分別にご協力をお願いいたします。



分別することで資源は生まれ変わるよ。



◎集団資源回収に協力しよう

集団資源回収とは、町会・自治会・PTAなどの営利を目的としない住民団体が、自ら回収日と回収場所を定めて、古紙類などを回収し、直接、再生資源業者などに引き渡すことです。市民のみなさんのご協力により、多くの資源が市を通さずにリサイクルされています。

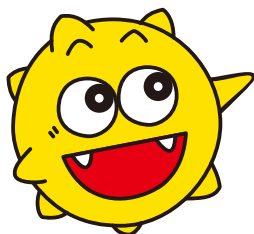
地域の集団資源回収は、市民のみなさんの参加によって成り立っています。みなさんのご協力をお願いいたします。



集団資源回収活動の様子
取材協力:前川町4丁目町会

◎リサイクルされた商品を選ぼう

商品を選ぶ時は、できるだけリサイクルされた商品を選ぶようにしましょう。分別してリサイクルに協力し、そのリサイクルされた商品を再び購入することで、リサイクルの輪が完成します。



ペットボトルからのリサイクル品

3R コラム

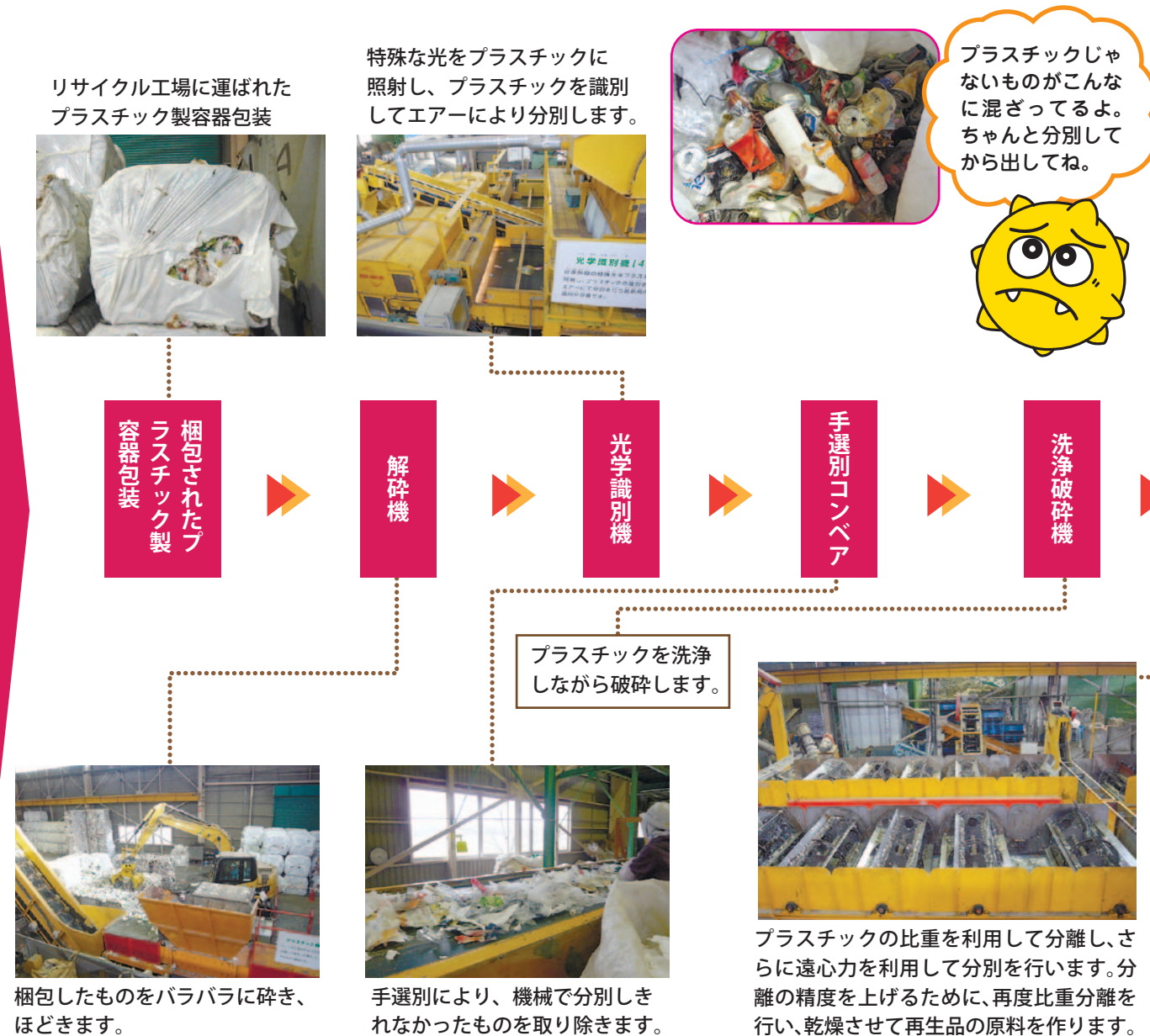
■「3Rの推進と資源・エネルギー」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団調査部長(環境省3R推進マイスター) 藤波 博 氏

私たちは、大量生産、大量消費を是とし経済発展に努めてきた結果、物があふれ生活は豊かになったものの、この消費経済社会の恩恵を「消費は美德なり」として享受してきた。一方で、大量の廃棄物の発生をもたらす環境への負荷は高まり、貴重な資源・エネルギーを失っている。このままでは、環境破壊やごみ問題など様々な問題が私たちの生活を脅かすようになってしまう。しかし、私の少年期を振り返れば、薪で炊飯、風呂を沸かし、残り火を炭にして暖をとっていたことが当たり前であった。資源を大切に使い、無駄なくリサイクルするといった節約の精神が人々の心の中に自然な形で息づいていたのだ。買い物かごや鍋を持参し、野菜、魚などは近くの店で買い、醤油、酒は1升ビン(しょうゆ、しょう)を店に持っていき中身だけを購入するといった風であった。後戻りすることはなかなか難しいが、今までの暮らし方でよかったのか、何のための便利さを問い直し方向修正をしていく必要があると思う。そして、このような「使い捨て社会」から脱し「循環型社会」をさらに進展させるためには、排出抑制、再利用、再生利用の3Rの取り組みを積極的に進めていくことが必要である。その一つにレアアース(希土類)のリサイクルがある。廃棄されたパソコンや携帯電話の基板など使用済み小型電気電子機器、いわゆる都市鉱山から貴金属やレアメタルを取り出し再生利用するものである。1月31日には、「小型電気電子機器リサイクル制度の在り方について」環境省中央環境審議会会長から環境大臣へ答申がなされた。国はこの答申を踏まえて新たな法制度の導入に向けて検討を進めており、これらの議論はまもなく大詰めを迎える。今後は、それぞれの立場で創意工夫をこらし、ライフスタイルのあり方にも踏みこんだ取り組みを進めていくことが大事なことと思っている。

プラスチック製容器包装の行方を追え！

プラスチック製容器包装リサイクルの流れ



～プラスチック製容器包装のリサイクルの様子～

みなさんに分別して出してもらっているプラスチック製容器包装は、リサイクルプラザに運ばれ、リサイクルするための処理(圧縮・梱包)を行った後、リサイクルする工場に運ばれます。では、工場に運ばれたプラスチックはどのようにリサイクルされているのでしょうか。その様子を追ってみましょう。

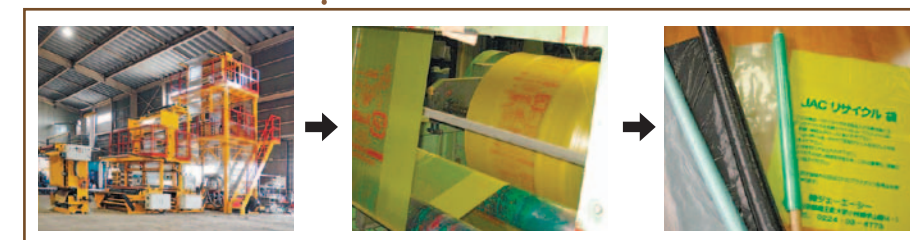
原料をペレタイザーという機械に投入し、溶解したのち、細かく切断したものを冷却します。



冷却している様子



再生ペレットができあがります。



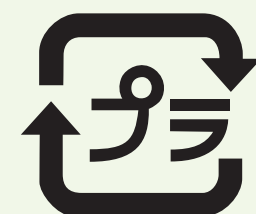
再生ペレットの一部を成形機により再商品化し、再度みなさんの元へお届けいたします。

取材協力：株式会社ジェー・エー・シー 蔵王資源リサイクル工場

◎資源物の出し方お願いコーナー プラスチック製容器包装の正しい出し方

プラスチック製容器包装のリサイクルをご紹介いたしましたが、正しく分別されていなければ、リサイクルすることはできません。ルールを守って出すようにしてください。

マークが目印



素材はプラスチックでも、ビデオテープ、バケツ、おもちゃなど、「プラマーク」がないものは一般ごみで出してください。

汚れがひどいものは一般ごみ

洗っても汚れが落ちないようなものは一般ごみに出してください。



◎家庭ごみの収集日情報メール配信サービスについて

平成24年4月1日より、仮登録用アドレスが変更となります。4月1日以降に登録をされる方は、下記アドレスに空メールを送信してください。なお、バーコード読取機能のある携帯電話をご使用のかたは、下のコードを読み取って空メール送信画面にいきます。

※すでに登録済のかたは、特に手続きしていただく必要はございません。

※平成24年4月1日より、鳩ヶ谷地域についてもメール配信サービスを開始いたします。

家庭ごみ収集日情報仮登録用アドレス kawagch.gomi1@mpme.jp
(返信メールが届きますので、「@mpme.jp」と「@city.kawaguchi.lg.jp」のドメインからのメールを受信できるようにしてください。)





鳩ヶ谷地域の

平成24年4月1日よりごみの

鳩ヶ谷地域のみなさまについては、平成23年10月11日の合併後も、従来のごみの分別方法で排出をお願いしておりますが、**平成24年4月1日からごみの分け方・出し方が変更**になります。また、各地区の収集日も変更になりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



変更点

有害ごみ

現在

蛍光管
水銀体温計
乾電池

- ・透明袋
- ・ごみステーションに排出
- ・月2回収集

蛍光管
水銀体温計

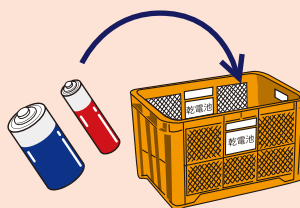
変更後



※袋に「有害ごみ」と書いた紙を貼ってください。

- ・透明袋
- ・ごみステーションに排出
- ・週2回収集

乾電池



※袋に入れずそのまま出してください。
※ボタン型乾電池、充電式電池は販売店に返却してください。

市役所・支所・公民館・図書館等に設置してある専用ボックスに入れる。(施設の開館時随時)

プラスチック製容器包装

現在



- ・透明又は白色半透明袋
- ・週1回収集
(曜日は地区によって異なります)



変更後



- ・透明袋
- ・週1回
毎週水曜日収集

びん・かん(飲料かん)

現在



- ・種類ごとに決められたかごで回収
- ・月2回収集

変更後



- ・透明袋
- ・月2回収集

※生きびんと雑びんを分ける必要はありませんが、生きびんはできるだけ販売店に返却してください。

みなさまへ



分け方・出し方が変更になります。

◎鳩ヶ谷地域のみなさまへ「川口市家庭ごみの分け方・出し方」配布のお知らせ

「川口市家庭ごみの分け方・出し方」を3月中に鳩ヶ谷地域の全世帯へ配布いたします。

一般ごみや資源物の分け方、ごみの自己搬入の方法、市では収集・受入をしていないものの処理方法、各地区の収集日などを詳しく載せていますので、ご確認のうえ排出をお願いいたします。

■問い合わせ 廃棄物対策課 TEL. 048-228-5370

金属類

現在



- ・透明又は白色半透明袋
- ・月2回収集



変更後



- ・透明袋
- ・月2回収集

紙類

紙バック、新聞紙、雑誌、雑紙、段ボール、紙製容器包装

現在



- ・種類ごとに分けて、ひもでしばる
- ・月1回収集（土曜日）



変更後



- ・種類ごとに分けて、ひもでしばる
- ・月2回収集(月～金曜日)
(収集日は地区ごとに異なります)

ペットボトル

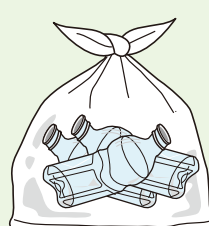
現在



- ・透明又は白色半透明袋
- ・月2回毎週水曜日収集



変更後



- ・透明袋
- ・月2回収集
(収集日は地区ごとに異なります)

繊維類

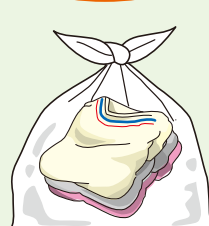
現在



- ・透明又は白色半透明袋
- ・月1回収集(土曜日)



変更後



- ・透明袋
- ・月2回収集(月～金曜日)
(収集日は地区ごとに異なります)

戸塚環境センター西棟3・4号炉大規模改修工事のお知らせ

本工事は、戸塚環境センター西棟3・4号炉プラント設備の主要部分を大幅更新することにより、処理能力の確保とともに延命化を図り、安定的なごみ処理体制を構築するものです。工事の進ちょく状況については、平成22年度から着手し平成23年度は4号炉の大規模改修工事を行ないました。平成23年10月末に本体工事が完了し、試運転及び性能試験により安全性が確認できたことから、現在は通常どおり稼動しています。また、平成24年度においては、3号炉の大規模改修工事を行ないます。

施工にあたっては法令を遵守するとともに、周辺環境に配慮して安全な工事に努めますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

工 期：平成22年12月20日から平成25年3月29日まで

施 工 業 者：J F Eエンジニアリング(株)

現場事務所：TEL. 048-290-3560

■問い合わせ 環境施設課 施設計画係 TEL.048-228-5383



ごみまる クロスワード

たてのヒント

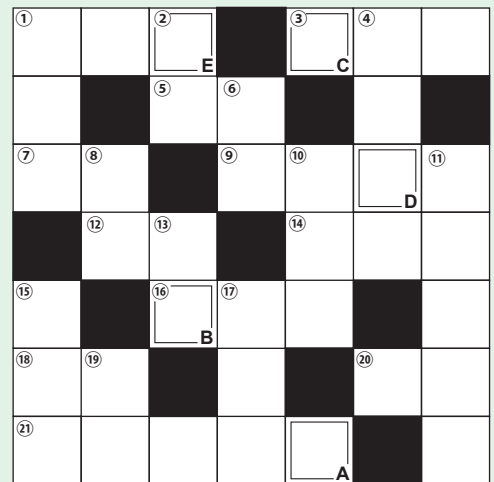
- ①春の七草の1つで、べんべん草という別名でも呼ばれる。
- ②ふりがなをつけることを「〇〇を振る」という。
- ④テレビ放送が始まった頃の映像は〇〇〇〇でした。
- ⑥鶴は千年、〇〇は万年。
- ⑧ごみを出す時は朝〇時30分までにしてください。
- ⑩写真を撮るための道具。
- ⑪川口市の紙類の5分別。紙パック、雑誌・雑紙、段ボール、紙製容器包装、残りの1つです。
- ⑬「草」、「花」、「菜」、これらの漢字の部首は「〇〇かんむり」です。
- ⑮地平線に向かって沈んでいく太陽。
- ⑰川口市ではアルミ缶とスチール缶を〇〇〇〇する必要はありません。
- ⑲石川啄木の歌集「一握の〇〇」

A～Eの枠の文字を順番にならべると、ある言葉になります！

はがきにクロスワードの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・PRESS530に関するご意見(ご感想)を明記のうえ、下記まで先までお送りください。(ご質問については直接、廃棄物対策課までご連絡ください。TEL.048-228-5370)なお、下記の「インターネットでの応募」の方法でも応募いただけます。正解者の中から抽選で20人のかたに「ごみまるグッズ」をプレゼントいたします。たくさんのご応募お待ちしております。発表は発送をもってかえさせていただきます。

よこのヒント

- ①アフリカ大陸を流れる世界最長の川は「〇〇〇〇川」
- ③江戸時代から明治時代への改革のこと、「明治〇〇〇」
- ⑤美しくすること。
- ⑦沖縄県の県庁所在地は〇〇市である。
- ⑨福笑いやスイカ割りの時にすること。
- ⑫ごみの収集日は〇〇によって異なりますので、「家庭ごみの分け方・出し方」等で確認してください。
- ⑭網目模様のパンといえば一般的に「〇〇〇パン」と呼ぶ。
- ⑯お花見といえばこの花。
- ⑰餅つきに必要な道具は「きね」と「〇〇」です。
- ⑲びんと〇〇は、収集日は同じですが袋は分けて出してください。
- ⑳3月3日に行われる、女子の健やかな成長を祈る行事。



答え A B C D E

バーコード読み取り機能のある携帯電話をご使用のかたは、右のコードを読み取って申請ページに進めます。



はがきでの
応募

〒332-0001 川口市朝日4-21-33

廃棄物対策課「ごみまるクロスワード」係

インターネット
での応募

- ①<https://denshi.pref.saitama.lg.jp/>にアクセス。(パソコン用)
- ②「川口市」を選択し、「申請・届出をする」から「PRESS530ごみまるクロスワード応募」を選択する。
- ③指示に従って必要事項を入力する。

応募締切

平成24年4月2日(月)必着

※ご応募いただいたはがきに記載の個人情報、ごみまるグッズ発送以外の目的では使用しません。お送りいただいたはがきは、すべて廃棄物対策課で厳重に管理・保管をし、第三者に開示・提供することはありません。

前号の【ごみまるクロスワード】の解答は『シゲンブツ』でした。306通もの応募をいただきました。ありがとうございました。

編集後記

今号まで、3号連続で身近にできる3R活動について掲載してきましたが、3Rはごみ減量のための大事なポイントです。少し考え方を变えるだけで、ごみを減らすことができるのです。まずは身近にできることから3R活動を始めて、ごみの減量をしていきましょう。

ふれすごうさんまる

PRESS

53



Vol. 83

2012年3月1日号

KAWAGUCHI CITY NEWS

編集・発行

川口市環境部廃棄物対策課

〒332-0001 川口市朝日4丁目21番33号

TEL.048-228-5370 FAX.048-228-5322

川口市ホームページアドレス

<http://www.city.kawaguchi.lg.jp>



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。再生紙を使用しています。